

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2027年6月9日まで（2017年7月31日設定）	
運用方針	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベ ビー ファンド	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベ ビー ファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）

第6期（決算日：2020年6月9日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）」は、去る6月9日に第6期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

当期の運用で主眼を置いたポイントをご説明させていただきます。

投資環境

化粧品市場は、新型コロナウイルス感染拡大の動向に左右されながらも底堅さがみられ、基準価額は若干の下落にとどまりました。

期首から2020年3月下旬にかけては、中国に端を發した世界的な新型コロナウイルスの感染拡大によって各国で外出制限が実施されました。外出制限により製品需要が低迷するとの見方から大手化粧品メーカーを中心に株価は軟調となり、基準価額は下落しました。

3月下旬以降は、新型コロナウイルスの感染拡大ペースが鈍化したことを受けて、各国の経済再開への期待が高まりました。また、外出制限が緩和された中国では化粧品需要が大きく回復しました。このような状況の改善から、ビューティー・ビジネス関連企業の株価は堅調に推移し、基準価額は上昇しました。

運用のポイント

主に米国で大衆向けのフィットネスジムを運営する「PLANET FITNESS INC - CL A」の組入比率を引き下げました。一方で、歯磨き粉やシャンプーの世界的なメーカーである「COLGATE-PALMOLIVE CO」の組入比

率を引き上げました。同社では、買収を通じてスキンケア事業を強化しており、強力な販売網を用いた今後のビジネス展開が注目されます。

運用環境の見通しおよび今後の運用方針

ビューティー関連市場は、高齢化によるアンチエイジング需要の高まりや、女性の社会進出など社会構造の変化、新興国での化粧文化の普及などによって中長期にわたり着実な成長が見込まれます。

足元では、世界的に新型コロナウイルスの感染拡大を防止するための外出規制が実施されたことで、メイクアップを中心に化粧品需要が落ち込みました。一方で、経済活動が再開された中国では、化粧品販売が回復しており、他の国でも外出制限の緩和が進めば、繰延需要などにもサポートされ化粧品販売は回復に向かう可能性が高いと考えています。また、投資対象銘柄の一部では、手荒れに配慮した手指消毒液の開発や免疫を高める効果のあるサプリメントの販売を強化するなど新型コロナウイルスとの共存に対応してさまざまな戦略を打ち出しており、その動向に注目しています。

当ファンドでは、ビューティー関連市場の動向を精査しながら、新規銘柄の発掘やポートフォリオの調整を随時行い、今後もパフォーマンスの向上に努めてまいります。



株式運用部
ファンドマネージャー

安井 陽一郎 村山 信明 加藤 明 長田 直樹 小島 直人 飯田 太郎

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株組 入比	式率	株先 物比	式率	純資 産額
		税分	込配	み金 騰落					
	円		円		%	%	%	百万円	
2期(2018年6月11日)	10,001		582		5.8	93.9	—	6,839	
3期(2018年12月10日)	8,956		0		△10.4	95.3	—	23,483	
4期(2019年6月10日)	10,000		228		14.2	97.4	—	25,326	
5期(2019年12月9日)	9,795		0		△2.1	95.8	—	25,983	
6期(2020年6月9日)	9,610		0		△1.9	94.9	—	24,636	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価額		株組 入比	式率	株先 物比	式率
		騰落	率				
(期首)	円		%		%		%
2019年12月9日	9,795		—		95.8		—
12月末	10,014		2.2		97.6		—
2020年1月末	9,868		0.7		96.5		—
2月末	9,185		△6.2		97.9		—
3月末	8,352		△14.7		96.8		—
4月末	8,721		△11.0		95.7		—
5月末	9,188		△6.2		97.3		—
(期末)							
2020年6月9日	9,610		△1.9		94.9		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

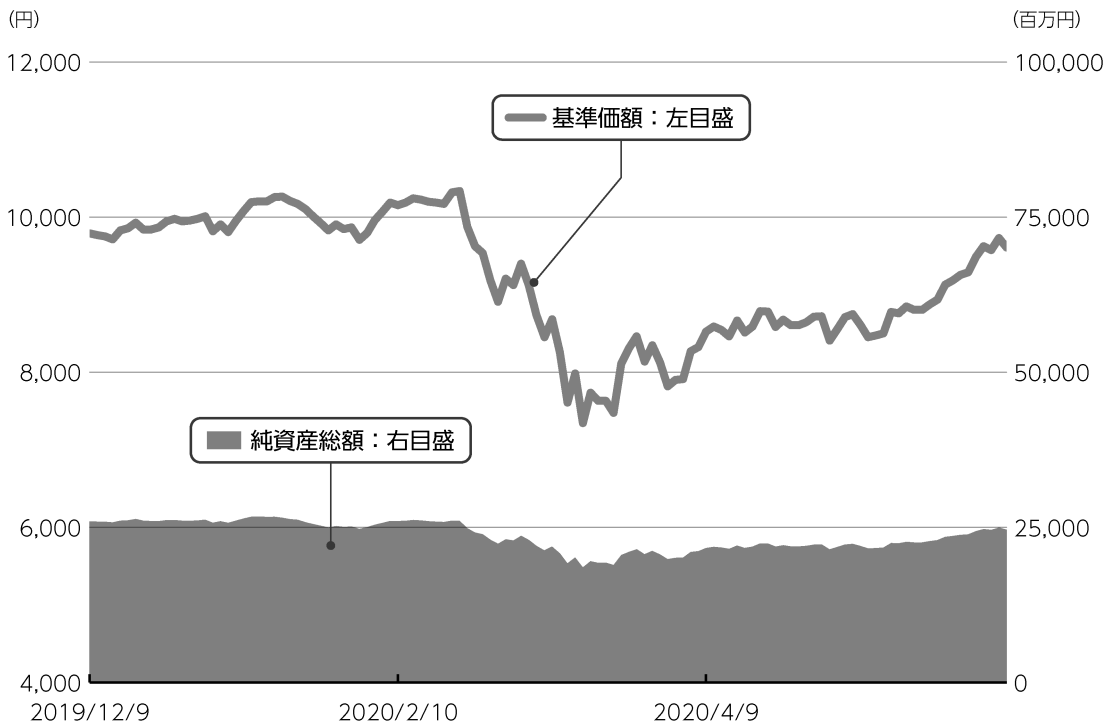
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第6期：2019年12月10日～2020年6月9日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第6期首	9,795円
第6期末	9,610円
既払分配金	0円
騰落率	-1.9%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.9%の下落となりました。

▶ 基準価額の変動要因

下落要因

組入銘柄（PLANET FITNESS INC - CL A、DENTSPLY SIRONA INC）の値下がりや米ドルや英ポンドが円に対して下落したことなどを背景に基準価額は下落しました。

第6期：2019年12月10日～2020年6月9日

投資環境について

▶ 株式市況

世界の株式市況はほぼ横ばいとなりました。

期首から2020年1月中旬までは米中通商協議の第1段階合意などを好感し株式市況は緩やかに上昇しました。しかし、1月中旬以降は中国において新型コロナウイルスの感染拡大が広がり、上値の重い展開となりました。さらに、2月下旬以降は、中国のみならずイタリアを中心とした欧州各国や米国においても感染が拡大し、感染拡大防止のため都市封鎖が相次いで実施されたことで、実体経済への悪影響が避けられないとの見方が広がり株式市況は大幅に調整しました。3月下旬からは、各国の中央銀行が大規模な金融緩和策を発表したことや巨額の財政出動に対する期待感、新規感染者数がピー

クアウトしたことなどから上昇基調に転じました。

▶ 為替市況

米ドルや英ポンドなどは円に対して下落した一方、ユーロなどは円に対して上昇しました。

米国や英国では、新型コロナウイルスの感染拡大に対応した都市封鎖による経済への打撃を軽減するために大規模な金融緩和が実施されました。その結果、日本との金利差が大きく縮小したことで米ドルや英ポンドは円に対して下落しました。ユーロ圏については、既にマイナス金利政策を導入済みであり金融緩和の余地が限られていることなどからユーロは円に対して上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）

ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行いました。

▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

日本を含む世界各国の企業の中からビューティー関連市場の恩恵を最大限享受すると考えられる企業を取材を通じて選別しました。

当ファンドでは、「ブランド力」、「新

興国]、「新しい販売手法」、「環境意識の高まり」の4点に着目した運用を行いました。

通貨別では、米ドルやスイスフランなどの比率が上昇し、円などの比率が低下しました。

組入銘柄数については、期首の32銘柄から4銘柄増加し、期末は36銘柄としました。

主な銘柄入替は以下の通りです。

歯磨き粉やシャンプーなどの世界的な大手企業であり、近年、買収を通じてスキ

ンケア事業の強化している「COLGATE-PALMOLIVE CO」などの比率引き上げや、ドクターシーラボで知られる日本の化粧品メーカー「シーズ・ホールディングス」を買収するなど化粧品の製品ラインナップを拡充している「JOHNSON & JOHNSON」などの新規組入などを行いました。一方で、米国を中心に大衆向けのフィットネスジムを運営する「PLANET FITNESS INC - CL A」や、インバウンド消費の減速や消費増税による日本人の消費意欲減退から「コーセー」などの比率を引き下げております。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。

（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第6期 2019年12月10日～2020年6月9日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	336

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）

マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

足元では、世界的に新型コロナウイルス

の感染拡大を防止するための外出規制が実施されたことで、メイクアップを中心に化粧品需要が落ち込みました。一方で、経済活動が再開された中国では、化粧品販売が回復しており、他の国でも外出制限の緩和が進めば、繰延需要などにもサポートされ化粧品販売は回復に向かう可能性が高いと考えています。また、投資

対象銘柄の一部では、手荒れに配慮した手指消毒液の開発や免疫を高める効果のあるサプリメントの販売を強化するなど新型コロナウイルスとの共存に対応してさまざまな戦略を打ち出しています。

こうした投資環境のもと、当ファンドでは、「ブランド力」、「新興国」、「新しい販売手法」、「環境意識の高まり」の4点に注目しています。ビューティー関連製品は、直接肌につけるタイプの商品が多いため、相対的に価格が高かったとしても品質や安全性が高い、欧米や日本の大手化粧品メーカーの商品が選好されやすい市場です。また、新興国における化粧品の一人当たり消費額は依然として低く、化粧文化の普及による市場拡大の余地は非常に大きいと考えています。そのため、当ファンドでは、高いブランド力を持つのはもちろんのこと、新興国の需要も着実に取り込んでいる企業に着目しています。

さらに、近年では、スマートフォンなどの普及によって、オンライン販売が大き

く伸びているだけではなく、アプリを利用した個人の肌質や好みに合わせた化粧品の提案が可能となり、各社の対応力が試されています。また、世界的な環境意識の高まりから、リサイクル可能な容器やオーガニック素材を使用した商品が人気を博すとともに、機関投資家もESG（環境・社会・ガバナンス）の観点からこのような取り組みに積極的な企業への投資を強化しており、当ファンドにおいてもその動向に注目しています。

当ファンドのポートフォリオ構築にあたっては、ビューティー・ビジネス関連企業が主に販売を行っている「地域」や、商品の「価格」、製品ブランド等の戦略を重点的に調査の上、美容関連市場の成長の恩恵を享受できると考えられる銘柄を中心に投資を行っています。今後も、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、美容関連市場の成長の恩恵を受けると判断した銘柄を選定します。

2019年12月10日～2020年6月9日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	83	0.905	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(41)	(0.442)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(41)	(0.441)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	10	0.109	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(10)	(0.109)	
(c) 有価証券取引税	2	0.019	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(2)	(0.019)	
(d) その他費用	1	0.010	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.008)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	96	1.043	

期中の平均基準価額は、9,203円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

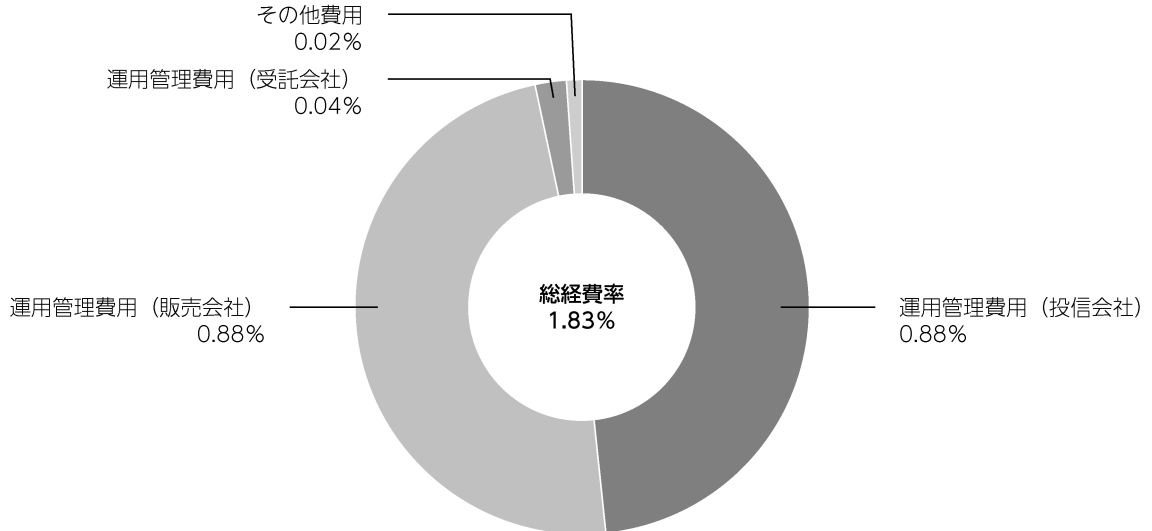
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.83%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年12月10日～2020年6月9日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ワールド・ビューティー・マザーファンド	1,136,427	1,342,360	1,957,578	2,476,860

○株式売買比率

(2019年12月10日～2020年6月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	ワールド・ビューティー・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	26,682,961千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	28,614,376千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.93

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年12月10日～2020年6月9日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）>

該当事項はございません。

<ワールド・ビューティー・マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 12,478	百万円 —	% —	百万円 14,204	百万円 1,028	% 7.2
為替直物取引	5,986	—	—	3,272	1,928	58.9

平均保有割合 80.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	25,775千円
うち利害関係人への支払額 (B)	635千円
(B) / (A)	2.5%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2020年6月9日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ビューティー・マザーファンド	20,323,202	19,502,051	23,925,116

○投資信託財産の構成

(2020年6月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ビューティー・マザーファンド	23,925,116	96.0
コール・ローン等、その他	1,003,521	4.0
投資信託財産総額	24,928,637	100.0

(注) ワールド・ビューティー・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（26,648,773千円）の投資信託財産総額（31,069,931千円）に対する比率は85.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=108.08円	1ユーロ=122.14円	1イギリスポンド=137.70円	1スイスフラン=112.92円
1ノルウェークローネ=11.68円	1オーストラリアドル=75.87円	1香港ドル=13.95円	100韓国ウォン=9.03円

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年6月9日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	24,928,637,199
コール・ローン等	74,030,888
ワールド・ビューティー・マザーファンド(評価額)	23,925,116,311
未収入金	929,490,000
(B) 負債	291,832,474
未払解約金	77,877,589
未払信託報酬	213,551,161
未払利息	116
その他未払費用	403,608
(C) 純資産総額(A-B)	24,636,804,725
元本	25,637,448,330
次期繰越損益金	△ 1,000,643,605
(D) 受益権総口数	25,637,448,330口
1万口当たり基準価額(C/D)	9.610円

○損益の状況（2019年12月10日～2020年6月9日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 55,772
受取利息	1,064
支払利息	△ 56,836
(B) 有価証券売買損益	△ 145,771,885
売買益	119,978,003
売買損	△ 265,749,888
(C) 信託報酬等	△ 213,954,769
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△ 359,782,426
(E) 前期繰越損益金	270,947,143
(F) 追加信託差損益金	△ 911,808,322
(配当等相当額)	(258,637,098)
(売買損益相当額)	(△1,170,445,420)
(G) 計(D+E+F)	△1,000,643,605
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△1,000,643,605
追加信託差損益金	△ 911,808,322
(配当等相当額)	(261,401,323)
(売買損益相当額)	(△1,173,209,645)
分配準備積立金	600,058,419
繰越損益金	△ 688,893,702

<注記事項>

- ①期首元本額 26,527,876,842円
 期中追加設定元本額 3,361,283,455円
 期中一部解約元本額 4,251,711,967円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9610円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,000,643,605円です。

③分配金の計算過程

項 目	2019年12月10日～ 2020年6月9日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	261,401,323円
分配準備積立金額	600,058,419円
当ファンドの分配対象収益額	861,459,742円
1万口当たり収益分配対象額	336円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

ワールド・ビューティー・マザーファンド

《第6期》決算日2020年6月9日

[計算期間：2019年12月10日～2020年6月9日]

「ワールド・ビューティー・マザーファンド」は、6月9日に第6期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第6期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
2期(2018年6月11日)	12,043		6.8	98.2	—	8,647
3期(2018年12月10日)	10,871	△	9.7	95.8	—	29,697
4期(2019年6月10日)	12,541		15.4	97.7	—	32,279
5期(2019年12月9日)	12,395	△	1.2	98.8	—	31,594
6期(2020年6月9日)	12,268	△	1.0	97.7	—	29,829

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	
				式 率
(期 首) 2019年12月 9 日	円 12,395	% —	% 98.8	% —
12月末	12,686	2.3	98.1	—
2020年1月末	12,520	1.0	97.1	—
2月末	11,669	△ 5.9	98.3	—
3月末	10,619	△14.3	97.5	—
4月末	11,108	△10.4	96.2	—
5月末	11,726	△ 5.4	98.0	—
(期 末) 2020年 6 月 9 日	12,268	△ 1.0	97.7	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

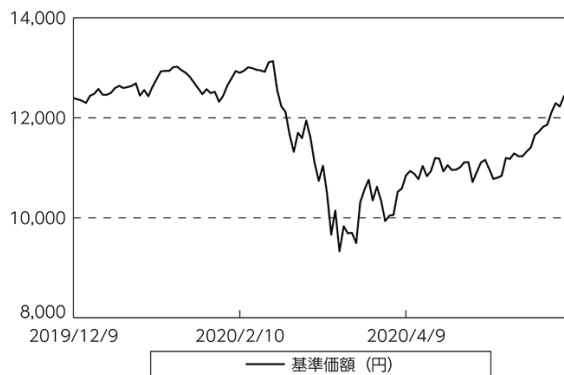
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.0%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の変動要因

(下落要因)

組入銘柄 (PLANET FITNESS INC - CL A、DENTSPLY SIRONA INC) の値下がりなどを背景に基準価額は下落しました。

●投資環境について

◎株式市況

・世界の株式市況はほぼ横ばいとなりました。
期首から2020年1月中旬までは米中通商協議の第1段階合意などを好感し株式市況は緩やかに上昇しました。しかし、1月中旬以降は中国において新型コロナウイルスの感染拡大が広がり、上値の重い展開となりました。さらに、2月下旬以降は、中国のみならずイタリアを中心とした欧州各国や米国においても感染が拡大し、感染拡大防止のため都市封鎖が相次いで実施されたことで、実体経済への悪影響が避けられないとの見方が広がり株式市況は大幅に調整しました。3月下旬からは、各国の中央銀行が大規模な金融緩和策を発表したことや巨額の財政出動に対する期待感、新規感染者数がピークアウトしたことなどから上昇基調に転じました。

◎為替市況

・米ドルや英ポンドなどは円に対して下落した一方、ユーロなどは円に対して上昇しました。米国や英国では、新型コロナウイルスの感染拡大に対応した都市封鎖による経済への打撃を軽減するために大規模な金融緩和が実施されました。その結果、日本との金利差が大きく縮小したことで米ドルや英ポンドは円に対して下落しました。ユーロ圏については、既にマイナス金利政策を導入済みであり金融緩和の余地が限られていることなどからユーロは円に対して上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・日本を含む世界各国の企業の中からビューティー関連市場の恩恵を最大限享受すると考えられる企業を取材を通じて選別しました。
- ・当ファンドでは、「ブランド力」、「新興国」、「新しい販売手法」、「環境意識の高まり」の4点に着目した運用を行いました。
- ・通貨別では、米ドルやスイスフランなどの比率が上昇し、円などの比率が低下しました。
- ・組入銘柄数については、期首の32銘柄から4銘柄増加し、期末は36銘柄としました。

主な銘柄入替は以下の通りです。

歯磨き粉やシャンプーなどの世界的な大手企業であり、近年、買収を通じてスキンケア事業の強化している「COLGATE-PALMOLIVE CO」などの比率引き上げや、ドクターシーラボで知られる日本の化粧品メーカー「シーズ・ホールディングス」を買収するなど化粧品の製品ラインナップを拡充している「JOHNSON & JOHNSON」などの新規組入などを行いました。一方で、米国を中心に大衆向けのフィットネスジムを運営する「PLANET FITNESS INC - CL A」や、インバウンド消費の減速や消費増税による日本人の消費意欲減退から「コーセー」などの比率を引き下げております。

○今後の運用方針

- ・足元では、世界的に新型コロナウイルスの感染拡大を防止するための外出規制が実施されたことで、メイクアップを中心に化粧品需要が落ち込みました。一方で、経済活動が再開された中国では、化粧品販売が回復しており、他の国でも外出制限の緩和が進めば、繰延需要などにもサポートされ化粧品販売は回復に向かう可能性が高いと考えています。また、投資対象銘柄の一部では、手荒れに配慮した手指消毒液の開発や免疫を高める効果のあるサプリメントの販売を強化するなど新型コロナウイルスとの共存に対応してさまざまな戦略を打ち出しています。
- ・こうした投資環境のもと、当ファンドでは、「ブランド力」、「新興国」、「新しい販売手法」、「環境意識の高まり」の4点に注目しています。ビューティー関連製品は、直接肌につけるタイプの商品が多いため、相対的に価格が高かったとしても品質や安全性が高い、欧米や日本の大手化粧品メーカーの商品が選好されやすい市場です。また、新興国における化粧品の一人当たり消費額は依然として低く、化粧文化の普及による市場拡大の余地は非常に大きいと考えています。そのため、当ファンドでは、高いブランド力を持つのはもちろんのこと、新興国の需要も着実に取り込んでいる企業に着目しています。
- ・さらに、近年では、スマートフォンなどの普及によって、オンライン販売が大きく伸びているだけでなく、アプリを利用した個人の肌質や好みに合わせた化粧品の提案が可能となり、各社の対応力が試されています。また、世界的な環境意識の高まりから、リサイクル可能な容器やオーガニック素材を使用した商品が人気を博すとともに、機関投資家もESG（環境・社会・ガバナンス）の観点からこのような取り組みに積極的な企業への投資を強化しており、当ファンドにおいてもその動向に注目しています。
- ・当ファンドのポートフォリオ構築にあたっては、ビューティー・ビジネス関連企業が主に販売を行っている「地域」や、商品の「価格」、製品ブ

ランド等の戦略を重点的に調査の上、美容関連市場の成長の恩恵を享受できると考えられる銘柄を中心に投資を行っています。今後も、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、美容関連市場の成長の恩恵を受けると判断した銘柄を選定します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年12月10日～2020年6月9日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 13 (13)	% 0.110 (0.110)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	2 (2)	0.019 (0.019)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	1 (1)	0.008 (0.008)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	16	0.137	
期中の平均基準価額は、11,695円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年12月10日～2020年6月9日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 91	千円 535,291	千株 701	千円 4,687,279
	外 国	百株 11,788	千アメリカドル 83,451	百株 9,027	千アメリカドル 60,436
外 国	アメリカ				
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	62	596	933	9,038
	フランス	336	10,328	116	3,212
	オランダ	150	768	268	1,448
	イギリス	582	千イギリスポンド 2,513	581	千イギリスポンド 2,481
スイス	1,888	千スイスフラン 9,911	55	千スイスフラン 8,656	

(注) 金額は受渡代金。

○株式売買比率

(2019年12月10日～2020年6月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	26,682,961千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	28,614,376千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.93

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年12月10日～2020年6月9日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	%	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C	%
株式	12,478	—	—	—	14,204	1,028	—	7.2
為替直物取引	5,986	—	—	—	3,272	1,928	—	58.9

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	32,230千円
うち利害関係人への支払額 (B)	792千円
(B) / (A)	2.5%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2020年6月9日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
化学 (100.0%)	千株	千株	千円	
竹本容器	152.4	112.4	87,559	
花王	36.5	3.6	32,256	
資生堂	378.5	220.6	1,603,541	
マンダム	29.1	14.5	31,291	
ミルボン	60.6	18	92,880	
ファンケル	599.5	415.6	1,271,736	
コーセー	109.3	2.1	31,038	
ポーラ・オルビスホールディングス	21.6	10.8	23,997	
ノエビアホールディングス	28.7	8.8	41,536	
合 計	株 数 ・ 金 額	1,416	806	3,215,835
	銘 柄 数 < 比 率 >	9	9	< 10.8% >

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	株数	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
COLGATE-PALMOLIVE CO	430	2,418	17,774	1,921,107	家庭用品・パーソナル用品	
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	1,377	1,213	24,863	2,687,289	家庭用品・パーソナル用品	
JOHNSON & JOHNSON	—	736	10,802	1,167,509	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
KIMBERLY-CLARK CORP	—	100	1,389	150,144	家庭用品・パーソナル用品	
PROCTER & GAMBLE CO/THE	2,071	2,055	24,465	2,644,178	家庭用品・パーソナル用品	
CLOROX COMPANY	97	72	1,439	155,551	家庭用品・パーソナル用品	
DENTSPLY SIRONA INC	—	604	3,090	334,039	ヘルスケア機器・サービス	
ALIGN TECHNOLOGY INC	221	196	5,704	616,521	ヘルスケア機器・サービス	
ULTA BEAUTY INC	600	497	12,652	1,367,442	小売	
CHURCH & DWIGHT CO INC	409	755	5,643	609,962	家庭用品・パーソナル用品	
ABBVIE INC	—	500	4,729	511,164	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
INTER PARFUMS INC	430	585	2,922	315,817	家庭用品・パーソナル用品	
APTARGROUP INC	1,251	1,374	15,605	1,686,684	素材	
PLANET FITNESS INC - CL A	1,685	399	2,916	315,172	消費者サービス	
CALAWO GROWERS INC	172	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
小 計	株 数 ・ 金 額	8,746	11,506	133,998	14,482,585	
	銘柄 数 < 比 率 >	11	14	—	<48.6%>	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
BEIERSDORF AG	981	512	5,069	619,179	家庭用品・パーソナル用品	
SYMRISE AG	918	516	4,882	596,335	素材	
小 計	株 数 ・ 金 額	1,899	1,028	9,951	1,215,514	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	<4.1%>	
(ユーロ…フランス)						
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	224	334	13,250	1,618,396	耐久消費財・アパレル	
L'OREAL	724	834	22,095	2,698,720	家庭用品・パーソナル用品	
INTERPARFUMS SA	1,229	1,229	3,812	465,640	家庭用品・パーソナル用品	
小 計	株 数 ・ 金 額	2,179	2,399	39,157	4,782,756	
	銘柄 数 < 比 率 >	3	3	—	<16.0%>	
(ユーロ…オランダ)						
UNILEVER NV	1,970	1,852	8,780	1,072,458	家庭用品・パーソナル用品	
小 計	株 数 ・ 金 額	1,970	1,852	8,780	1,072,458	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<3.6%>	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	6,048	5,279	57,890	7,070,729	
	銘柄 数 < 比 率 >	6	6	—	<23.7%>	
(イギリス)				千イギリスポンド		
UNILEVER PLC	2,008	2,009	8,828	1,215,704	家庭用品・パーソナル用品	
CRODA INTERNATIONAL PLC	463	463	2,385	328,523	素材	
小 計	株 数 ・ 金 額	2,471	2,472	11,214	1,544,227	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	<5.2%>	
(スイス)				千スイスフラン		
GIVAUDAN-REG	46	32	10,642	1,201,751	素材	
STRAUMANN HOLDING AG-REG	64	74	6,029	680,853	ヘルスケア機器・サービス	
DUFREY AG-REG	—	1,837	7,070	798,413	小売	
小 計	株 数 ・ 金 額	110	1,943	23,742	2,681,018	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	3	—	<9.0%>	
(香港)				千香港ドル		
L'OCCITANE INTERNATIONAL SA	4,302	4,302	6,066	84,628	家庭用品・パーソナル用品	
小 計	株 数 ・ 金 額	4,302	4,302	6,066	84,628	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<0.3%>	

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(韓国)		百株	百株	千韓国ウォン	千円	家庭用品・パーソナル用品
LG HOUSEHOLD & HEALTH CARE		4	4	672,952	60,767	
小 計	株 数 ・ 金 額	4	4	672,952	60,767	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 0.2% >	
合 計	株 数 ・ 金 額	21,684	25,509	—	25,923,956	
	銘 柄 数 < 比 率 >	23	27	—	< 86.9% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2020年6月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 29,139,792	% 93.8
コール・ローン等、その他	1,930,139	6.2
投資信託財産総額	31,069,931	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（26,648,773千円）の投資信託財産総額（31,069,931千円）に対する比率は85.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=108.08円	1 ユーロ=122.14円	1 イギリスポンド=137.70円	1 スイスフラン=112.92円
1 ノルウェークローネ=11.68円	1 オーストラリアドル=75.87円	1 香港ドル=13.95円	100韓国ウォン=9.03円

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年6月9日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	31,069,931,989	
コール・ローン等	827,932,280	
株式(評価額)	29,139,792,401	
未収入金	1,085,920,445	
未収配当金	16,286,863	
(B) 負債	1,240,105,873	
未払金	76,354,727	
未払解約金	1,163,750,000	
未払利息	1,146	
(C) 純資産総額(A-B)	29,829,826,116	
元本	24,314,758,434	
次期繰越損益金	5,515,067,682	
(D) 受益権総口数	24,314,758,434口	
1万口当たり基準価額(C/D)	12,268円	

<注記事項>

- ①期首元本額 25,490,067,975円
 期中追加設定元本額 1,806,342,297円
 期中一部解約元本額 2,981,651,838円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2268円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)	19,502,051,118円
ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり)	4,812,707,316円
合計	24,314,758,434円

○損益の状況 (2019年12月10日～2020年6月9日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	173,576,314	
受取配当金	173,717,844	
受取利息	154,776	
その他収益金	46	
支払利息	△ 296,352	
(B) 有価証券売買損益	△ 336,289,047	
売買益	1,782,523,144	
売買損	△2,118,812,191	
(C) 保管費用等	△ 2,343,294	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 165,056,027	
(E) 前期繰越損益金	6,104,104,168	
(F) 追加信託差損益金	308,507,703	
(G) 解約差損益金	△ 732,488,162	
(H) 計(D+E+F+G)	5,515,067,682	
次期繰越損益金(H)	5,515,067,682	

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。